

## 令和5年度第1回産業衛生技術部会拡大幹事会 資料

日時： 令和5年（2023年）5月12日（金） 12:30～13:30

場所： ライトキューブ宇都宮 小会議室 101（第6会場） および ZOOM でのオンライン開催

### 議題

- 1) 令和4年度第2回拡大幹事会・第3回幹事会 議事録の確認
- 2) 部会新体制について
- 3) 2022年度決算報告・2023年度予算案
- 4) 第96会学会（宇都宮）における部会主催行事の報告
- 5) 第34回全国協議会（甲府）における部会主催行事の提案
- 6) 令和5年度第一回研修会の開催案
- 7) 第97回学会（広島）の準備状況の報告および、部会主催行事のテーマ案の協議
- 8) 奨励賞ならびに特別功労賞について（報告）
- 9) KIHA 学会参加報告
- 10) ANOH 学会について
- 11) 個人ばく露測定に関する特別委員会設置についての提案
- 12) 各地方会からの報告事項
- 13) 部会事務局からの報告事項
- 14) その他

### 添付資料

- 1) 令和4年度第2回拡大幹事会・第3回幹事会 議事録（案）
- 2) 2023～2024年度 部会体制（案）
- 3) 2022年度決算報告・2023年度予算案
- 4) 令和5年度第一回研修会（パンフレット案）
- 5) 第97回学会（広島）ポスター・プログラム応募についてのお願い
- 6) 第6回 ANOH 学会（フィリピン・マニラ）
- 7) 個人ばく露測定に関する特別委員会設置についての提案

### 議事

- 1) 令和4年度第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録の確認（資料1）
- 2) 部会新体制について（資料2）
- 3) 2022年度決算報告・2023年度予算案（資料3）
- 4) 第96会学会（宇都宮）における部会主催行事の報告
  - ① 学会シンポジウム（産業衛生技術部会主催）

テーマ：社内外の産業衛生技術専門家の「自律的な化学物質管理」～オキュペイショナルハイジニストから見た実務／指導／助言・課題・展望～

座長：津田洋子（帝京大），土肥誠太郎（三井化学）

    1. 製造業の内部担当者としての実務と展望（森分勝人，ENEOS）
    2. 学校の内部担当者としての実務と展望（片山謙吾，熊本大学）
    3. 外部専門家としての実務と展望（奥田篤史，富士清空工業所）
  - ② 産業衛生技術フォーラム（騒音障害予防研究会との共催）

テーマ：これからの騒音障害予防対策について

座長：永野千景（産業医大），中原浩彦（NAOSH コンサルティング）

    1. 騒音障害防止ガイドライン改正：30年ぶりの改正，改正の目的や概要の解説（井上仁郎）
    2. 国内の騒音曝露の実態紹介（佐々木直子，佐々木労働衛生コンサルタント事務所）
    3. 旧ガイドラインに基づく騒音対策の実施状況（永野千景，産業医大）
    4. 化学物質による不可逆性難聴（森岡郁晴，和歌山県立医大）
    5. 今後の騒音障害防止管理について（中原浩彦，NAOSH コンサルティング）
  - ③ 総会
  - ④ 拡大幹事会（ハイブリッド）
- 5) 第34回全国協議会（甲府）における部会主催行事（案）
  - ① 産業衛生技術部会シンポジウム「経皮吸収に関する最近の動向（仮題）」

座長：中原浩彦

- 「自律的管理における皮膚吸収性有害物質の基本的な考え方（仮）」豊岡達士（労働安全衛生総合研究所）
  - 「皮膚吸収評価の実験的手法と今後（仮）」柳場由絵（労働安全衛生総合研究所）
  - 「皮膚吸収評価の計算予測（仮）」後藤嘉孝（みずほリサーチ&テクノロジーズ）
  - 「化学防護手袋の評価と選び方（仮）」（演者調整中）
- ② 産業衛生技術部会専門研修会  
テーマ，座長，演者ともに調整中。
- ③ 拡大幹事会（ハイブリッド開催を予定）
- 6) 令和5年度第一回研修会の開催案について（資料4）  
日時：7/22（土）15:00～17:50  
場所：機械振興会館&オンライン（ZOOM）のハイブリッド  
司会進行 齊藤宏之（労働安全衛生総合研究所）  
座長 神津 進（HOYA株式会社）  
副座長 飯田裕貴子（株式会社環境管理センター）  
講演・演者（案）
- 「衛生管理者巡視の新しい形態」 川上貴教（北海道大学）
  - 「衛生管理者巡視の実務上のノウハウ」 椎野恭司（椎野労働衛生コンサルタント事務所）
  - 「労働衛生管理全体から見た衛生管理者の巡視の重要性と産業医巡視との連携」 梶木繁之（株式会社 産業保健コンサルティングアルク）
- 7) 第97回学会（広島）における部会主催行事のテーマ案の協議
- 第97回学会（2024/5/22～25）の準備状況の報告および，プログラム応募のお願い（資料5，中国地方会：森本幹事より報告）
  - 第97回学会における部会主催行事の企画案について（協議）
- 8) 奨励賞ならびに特別功労賞について（報告）
- 今年度の奨励賞については，幹事などから頂いた推薦（2名）について表彰委員会にて厳正な審査の結果，下記の通り決定した。本日の総会にて表彰予定。
    - 中村 剛（東北大学医学部 研究安全管理室）
    - 武藤 剛（北里大学 医学部衛生学講座）
  - 部会立ち上げならびに運営に多大なるご尽力を頂いた，中明賢二先生（麻布大学名誉教授）に特別功労賞をお贈りすることとし，本日の総会にて表彰する予定である。
- 9) KIHA 学会参加報告
- 韓国・済州島で開催されたKIHA国際学会(2023/2/22-24)に中原浩彦副部長が出席し，” Challenging and upcoming changes” セッションにて発表した。
- 10) ANOH 学会について（資料6）
- 今年度の ANOH 学会はフィリピン・マニラにて 2023/9/26～27 に PDC，9/28～30 に Conference が開催予定。
  - 演題募集は 5/12 締切。技術部会が団体会員になっているため，積極的に参加をご検討いただきたい。
  - 2026 年度 ANOH 学会を日本開催する方向で検討中。
- 11) 個人ばく露測定に関する特別委員会設置についての提案（資料7）
- 12) 各地方会からの報告事項
- 13) 部会事務局からの報告事項
- 個人ばく露測定ガイドライン作成特設委員会の設置について
  - OHTA 教育資料翻訳事業について
  - その他
- 14) その他

## 令和 4 年度第二回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録

日時：令和 4 年（2022 年）9 月 30 日（金）12:15～13:30

場所：札幌コンベンションセンター201 会議室 および ZOOM でのオンライン開催

参加者：[事務局] 橋本晴男, 山野優子, 中原浩彦, 齊藤宏之, 中村憲司, 飯田裕貴子, 中村修, 宮内博幸, 原 邦夫(\*), [幹事] 池田和博, 相澤和幸, 森 洋, 河合直樹(\*), 伊藤昭好(\*), 田畑正司, 田村三樹夫(\*), 榊原洋子, 中元健吾(\*), 伊藤由起(\*), 東 賢一, 田口豊郁(\*), 浜井盟子(\*), 保利 一, 大藪貴子(\*), [企画運営委員] 大久保茂子(\*), 川上貴教, 貴志孝洋(\*), 對木博一, 津田洋子, 藤間俊彦, 山内武紀, [担当理事] 土肥誠太郎, 上島通浩  
(\*)はオンライン参加

1. 前回議事録の確認が行われた。不明箇所の指摘点を修正し、議事録の確定とした。
2. 第 96 回学会（宇都宮）の企画についての説明がなされ、承認された。
3. 第 33 回全国協議会（甲府）の企画についての説明がなされた。このうち、専門研修会については北陸甲信越地方会選出の幹事の先生方を中心に企画を検討することとなったが、一方で地方会所属の部会員が手薄であることから、事務局と連絡を取りながら企画を検討することとした。
4. 部会からの報告事項として、ANOH の団体会員登録、化学物質管理に関する外部との協力、国大協からの協力要請についての報告がなされた。
5. 担当理事からの報告事項として、土肥理事より報告がなされた。
  - 化学物質の自律的管理について、学会としても技術部会の関与について非常に期待を持っている旨、報告がなされた。
  - 学会員による学会活動についてはすべてボランティアとし、謝金等は出さない方向で検討していることが報告された。これについて、学会側から基準を示すことが重要との意見があり、今後引き続き学会理事会での動きを注視することとした。
6. 地方会からの報告事項として、東海地方会より 12/18 に研修会を企画していることが報告された。詳細が決まり次第、東海地方会 Web サイトに掲載する。また、北海道地方会から、今回の全国協議会への協力に対して感謝の意が示された。
7. OHTA 資料の翻訳作業の進め方について、中原副部長より報告がなされた。
  - 現在、OHTA 及び学会側の了解を得た上で、初級版の資料について AI 翻訳を用いた仮訳と、それに対する修正を行った和訳版を進めている旨、報告があった。
  - AI 翻訳に対する修正については、まずは拡大幹事会メンバーから有志を募って分担することとなった。当面、年内完成を目指し、10 月末に第一回目の進捗状況の確認を行いたい。
  - OHTA 資料が更新された場合は、その都度翻訳版も更新する必要が生じるが、OHTA 資料の更新スケジュールは必ずしも明白にはなっていない旨、説明があった。
  - 和訳版は OHTA の Web サイトへの掲載がなされるが、それとは別に学会員・部会員へのメリットを享受できるように、OHTA Web サイト以外の方法での資料提供を検討する。
  - OHTA 資料は、5 日講習を前提にして作られている。有償で 5 日間教育を行うことは可能であり、実際に AIHA など実施している。その場合、OHTA 側から認証されたプロバイダーとなる必要がある。
  - 今後の AI 翻訳の契約については、月額 88,000 円（10 ID）である。予算との絡みもあるため、要検討。
8. 予算案ならびに期末残高の見込みについての説明が齊藤事務局長よりなされた。
  - 2021 年度の期末残高は 281 万円、2021 年度は 230 万円の見込み（AI 翻訳を 10～2 月契約の場合）。
  - 2023 年度～2024 年度に AI 翻訳を年間契約した場合、2023 年度末で 92 万円、2024 年度末の期末残高は 40 万円程度と、2024 年度末に適正化レベルとなる。
  - 予算の適正化という意味では AI 翻訳の年間契約は有効だが、その一方で本当に年間契約が必要なのかどうか、必要な期間のみの契約に留めるべきではないかとの指摘があった。
  - 一方で、本来であれば翻訳が必要な資料に対して、翻訳の見積もりを行うべきところ、AI 翻訳の定期契約ということで予算化がしやすくなっているというメリットもある。
  - 仮に年間契約を行わない場合、想定された期末残高の縮減がなされないという問題が生じる。これについては残予算の学会への返納の可否や、どの段階までに期末残高の適正化が必要か等を含め、要検討とされた。
  - 学会員向けの印刷物を作成することも検討すべきとの意見があった。
  - 来年度予算案の提出期限が 11 月末のため、事務局にて早急に実施案ならびに予算案を作成し、メー

ルにて審議することとした。併せて、学会側に残予算の返納の可否および、期末残高適正化のタイムリミットについて確認する。

9. 学会員・部会員がメリットを感じられる活動についての議論が行われた。企画運営委員会にて検討した内容についての紹介が行われ、当面は下記について検討することとした。
  - 部会行事， 地方会行事等の参加費についての差別化を検討する。
  - 部会員専用の交流・議論スペースとして， Facebook に部会員専用プライベートグループを開設する。まずは拡大幹事会メンバーにて試用し， 問題がなければ来年の総会にて報告し， 本運用とする方向で検討する。
  - 部会主催行事の資料について， 一般公開資料と部会員限定資料を分けることを検討する。会員向けに早期公開とすることも一考。成果の社会還元と， 会員へのメリットを考慮する必要がある。
10. 今後の部会主催行事の企画案について， 来年5月の拡大幹事会にて各自で案を持ち寄った上で議論することが了承された。
11. 研究奨励賞候補者， 大久保利晃産業保健研究奨励金の候補者， ならびに酒井 CHS 振興財団研究助成の候補者の推薦についての依頼がなされた。

以上。

## 2022年度第3回産業衛生技術部会幹事会 議事録（案）

日時：2023年（令和5年）2月13日（月）13:00～14:00

場所：ZOOMによるオンライン開催

参加者：[幹事] 相澤，池田，川上，森，河合，齊藤，伊藤（昭），橋本，山野，中原，田村，榊原，伊藤（由），長見，竹内，東，田口，森本，浜井，保利，[監事] 加藤，[事務局] 中村（修），飯田

欠席：[幹事] 田畑，城，中元，光吉，宮内，渡邊，樋上 [担当理事] 土肥，上島

（敬称略）

## 議題（案）

1. 次期幹事メンバーの確認ならびに、退任される方（池田和博先生，大藪貴子先生，原邦夫先生），新任される方（川上貴教先生，渡邊裕晃先生，樋上光雄先生）の出席者から挨拶が行われた。
2. 次期部会長の選出に際して、他薦による推薦のあった橋本晴男先生，中原浩彦先生，齊藤宏之先生を候補者とした投票を実施した。その結果，橋本晴男先生（14票），中原浩彦先生（3票），齊藤宏之先生（3票）となり，次期部会長は橋本晴男先生に決定した。
3. 今後の部会主催行事について
  - 1) 第96回日本産業衛生学会（宇都宮）での企画について説明がなされた。
    - シンポジウム 11「組織内外の産業衛生技術専門家の「自律的な化学物質管理」～オキュパイショナルハイジニストから見た実務／指導／助言・課題・展望～」(5/11(木) 15:00～17:00)
    - 産業衛生技術部会フォーラム「これからの騒音障害予防対策について」(騒音障害防止研究会との共催) (5/12(金) 15:30～17:30)
    - 拡大幹事会（ハイブリッド開催を予定）
    - 総会
  - ※ 関連企画
    - 教育講演 7「自律的な化学物質管理に関わる曝露測定等の測定について」
    - シンポジウム 20（政策法制度委員会シンポジウム）「化学物質の自律管理へ向けて，それぞれの産業保健スタッフの果たすべき役割」
    - シンポジウム 4「化学物質の自律的管理における濃度基準の設定とアセスメントの実施」
  - 2) 第33回全国協議会（甲府）での企画案について
    - 産業衛生技術シンポジウム「経皮吸収に関する最近の動向（仮題）」の演者依頼候補として，みずほ情報総研，JNIOOSH，厚生労働省・委員会，手袋等保護具メーカー，日化協，行政，などが候補として挙げられた。
    - 産業衛生技術専門研修会「北陸甲信越における衛生管理活動について（仮題）」の演者（3人ほど）等，4～5月には決定し学会事務局への連絡が必要である旨が確認された。
  - 3) それ以降の部会主催行事のテーマ案について
    - 第97回日本産業衛生学会（広島）には，2023年9月頃に企画案を出す必要があり，拡大幹事会などで検討することとされた。
    - 第34回全国協議会（千葉）
4. アジア産業衛生ネットワーク学会（ANOH）との協力関係について
  - 技術部会は日本産業衛生学会からの承認を得て，部会員の海外への関心や交流を促し専門性を高める目的で，昨年 ANOH に団体会員として参加した。橋本技術部会長より，ANOH の設立目的，参加国，大会運営，会費，次回日程（フィリピン，8/26-30），および今後 ANOH とどのように交流，協力を進めるか等について説明された。
  - ANOH 日本開催（2026年？）を念頭において，今後 ANOH 日本開催の組織運営について，どの団体と共催とするか等について検討が必要との意見があった。
5. その他
  - 技術部会幹事より韓国産業衛生学会（2/22-23）への参加予定であること，また韓国産業衛生学会のプログラムには，アジアでの法規制への取り組みや国際的な取り組みの紹介も含まれていることが報告された。
  - OHTA 教材（ハイジニスト遠隔教育コース）の翻訳作業について，データの共有方法について報告がされた。

## 2023～24年度 産業衛生技術部会 運営体制

2023/5/12

## 【部会幹部】

役職	氏名(所属)
部会長	橋本晴男(橋本安全衛生コンサルタントオフィス)
副部会長	山野優子(昭和大学) 中原浩彦(NAOSHコンサルティング)
監事	加藤隆康((独)労働者健康安全機構 愛知産業衛生総合支援センター)

## 【幹事】(\*印:理事長推薦, 無印:地方会推薦)

地方会	氏名	所属
北海道	相澤和幸	公益財団法人 北海道労働保健管理協会 産業保健部
	川上貴教	北海道大学 安全衛生本部
東北	河合直樹	河合環境コンサルタント事務所
	森 洋	秋田環境測定センター
関東	橋本晴男(*)	橋本安全衛生コンサルタントオフィス
	山野優子(*)	昭和大学医学部
	中原浩彦(*)	NAOSHコンサルティング
	伊藤昭好	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	齊藤宏之	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
北陸 甲信越	田畑正司	一般財団法人 石川県予防医学協会
	田村三樹夫	田村労働安全衛生コンサルタント事務所
東海	榊原洋子	愛知教育大学 教育学部 保健体育講座
	城 憲秀	中部大学 生命健康科学部 保健看護学科
	中元健吾(*)	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
	伊藤由起(*)	名古屋市立大学 医薬学総合研究院
近畿	長見まき子	関西福祉科学大学 健康福祉学部 健康科学科
	竹内靖人	中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター
	東 賢一(*)	関西福祉科学大学 健康福祉学部 福祉栄養学科
中国	田口豊郁	田口労働安全衛生コンサルタント事務所
	森本寛訓	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科
四国	浜井盟子	愛媛大学医学系研究科
	光吉宏司	中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター四国支所
九州	宮内博幸	産業医科大学 産業保健学部
	保利 一	産業医科大学 産業保健学部
	渡邊裕晃(*)	産業医科大学 産業保健学部
	樋上光雄(*)	産業医科大学 産業保健学部

## 【事務局】

役割	氏名
部会長	橋本晴男
副部会長	山野優子, 中原浩彦
事務局長	齊藤宏之
総務担当	齊藤宏之(主), 中村 修(副), 中村憲司(副), 山内武紀(副)
会計担当	飯田裕貴子(主), 中村 修(副)
広報担当	齊藤宏之(主), 貴志孝洋(副)
教育研修担当	中村 修(主), 川上貴教(副)
国際協力担当	中原浩彦(主), 飯田裕貴子(副)

## 【企画運営委員】

氏名	所属
青木隆昌	九州工業大学
飯田裕貴子	環境管理センター
牛澤浩一	理化学研究所
大久保茂子	昭和大学
奥田篤史	株式会社富士清空工業所
加藤隆康	(独)労働者健康安全機構 愛知産業衛生総合支援センター
川上貴教	北海道大学
貴志孝洋	筑波大学
久保田裕仁	興研
齊藤宏之	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
津田洋子	帝京大学
藤間俊彦	AGC株式会社
中原浩彦	NAOSHコンサルティング
中村修	筑波大学
中元健吾	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
橋本晴男	橋本安全衛生コンサルタントオフィス
東久保一朗	中央労働災害防止協会
山内武紀	昭和大学
山野優子	昭和大学



## 監査結果報告

日本産業衛生学会産業衛生技術部会の 2022 年度の会計関係の帳簿等をもとに監査いたしましたところ、会計は適切に処理されていることを確認いたしました。ここにご報告いたします。

2023 年 3 月 10 日

産業衛生技術部会 監事

加藤 隆 彦 

## 収支予算書

2023年 3月 1日から2024年 2月29日まで

産業衛生技術部会

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	0	0	0	
協賛金等収入			0	
参加登録料収入			0	
資格認定料収入			0	
その他の事業収入			0	
受取補助金等	600,000	600,000	0	
受取本国補助金	600,000	600,000	0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間団体助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取活動費	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息			0	
受取雑収入			0	
経常収益計	600,000	600,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	835,000	1,215,000	-380,000	
臨時雇賃金	50,000	50,000	0	
旅費	50,000	50,000	0	
通運費			0	
減価償却費			0	
印刷製本費			0	
懇親会費			0	
機関誌発行費			0	
広報渉外費			0	
研究助成金	80,000	80,000	0	外部演者
諸学会助成金			0	
協議会助成金			0	
大会研修助成金			0	
地方会助成金	200,000	200,000	0	
委員研究会費			0	
委託会費	300,000	830,000	-530,000	DL翻訳(6万/年×5人)
国際交保流守費	150,000		150,000	ANOH年会費
雑管費	5,000	5,000	0	
管理費	386,000	386,000	0	
給料手当費	100,000	100,000	0	
旅費	100,000	100,000	0	
通運費	30,000	30,000	0	ZOOM通信費当
役員改選費			0	
印刷製本費	2,000	2,000	0	
消耗什器備品費	150,000	150,000	0	遠隔会議用機器
消耗什器備品費	2,000	2,000	0	
会報報渉費			0	
広報報渉費			0	
委報報渉費			0	
雑管費	2,000	2,000	0	
経常費用計	1,221,000	1,601,000	-380,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
評価損益等計			0	
当期経常増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計			0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額	-621,000	-1,001,000	380,000	
一般正味財産期首残高	2,300,000	2,403,878	-103,878	
一般正味財産期末残高	1,679,000	1,402,878	276,122	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,679,000	1,402,878	276,122	

# 日本産業衛生学会 産業衛生技術部会 令和5年度第一回研修会 「衛生管理者による巡視について」

日時 令和5年 7月 22日 (土) 15:00~17:50

会場 機械振興会館 6-66会議室 (東京都港区芝公園3-5-8) / ZOOMによるオンライン配信

会費 無料

対象 どなたでも (配布資料は会員のみ)

座長 HOYA株式会社 神津 進  
株式会社環境管理センター 飯田裕貴子

15:00~15:05	<b>開会あいさつ</b> 産業衛生技術部会 部会長 橋本晴男
15:05~15:45	<b>衛生管理者巡視の新しい形態</b> 北海道大学 安全衛生本部 川上貴教
15:45~16:25	<b>衛生管理者巡視の実務上のノウハウ</b> 椎野労働衛生コンサルタント事務所 椎野恭司
16:25~16:35	<b>休憩</b>
16:35~17:15	<b>労働衛生管理全体から見た 衛生管理者の巡視の重要性と産業医巡視との連携</b> (株) 産業保健コンサルティングアルク 梶木繁之
17:15~17:45	<b>質疑応答</b>
17:45~17:50	<b>閉会あいさつ</b> 産業衛生技術部会 副部会長 中原浩彦

## 会場アクセス (機械振興会館)



## 参加申し込み方法

下記申込みフォームよりお申し込み  
ください。

締め切りは6月30日 (金) です。

<https://forms.gle/R5knX5QSyj4iuZzr5>



2023年5月12日

産業衛生技術部会の皆さま

第97回日本産業衛生学会 企画運営委員  
プログラム委員（産業衛生技術部会担当）  
森本 寛訓  
（川崎医療福祉大学）

## 第97回日本産業衛生学会（広島）についてのご報告とプログラム応募のお願い

産業衛生技術部会の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、私ども第97回日本産業衛生学会（広島）企画運営委員会は、2024年の学会開催に向けて、月に1回、広島市内で会議を開催しております。現時点でテーマ、会期、会場等が決定し（※別紙ポスター参照）、第97回日本産業衛生学会（宇都宮）より正式に学会内外での紹介活動を開始することとなりました。

今後、実行委員会、プログラム委員会を組織し、学会事務局、学会運営事務局（JTB コミュニケーションデザイン）、また共催の広島県医師会等と協力し、ハイブリッド（会場参加、Web参加、および一部オンデマンド配信）にて、実りある学会になるよう準備を進めてまいります。

なお、プログラムに多様性をもたらし、多くの学会員のニーズを充足することを目的に、シンポジウムやフォーラム、教育講演等は学会内で公募を行う予定です。産業衛生技術部会企画につきましては従来の枠でご準備させて頂く事がほぼ確定しておりますが、こちらも公募によるエントリーの形を取らせていただきます。その他、自由な企画提案が可能となっております。

プログラム公募は令和5年6月より開始予定です。「第97回学会テーマ：変革期における産業保健のアイデンティティーサイエンスに基づく組織と労働者の両立支援—」および「学会100年ミッション」に沿った形で、積極的なご応募をお願い申し上げます。

第97回日本産業衛生学会（広島）につきましてご支援ご協力を賜りますよう、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

# 第97回 日本産業衛生学会 in HIROSHIMA

変革期における  
産業保健のアイデンティティ  
—サイエンスに基づく組織と労働者の両立支援—



会 期：2024年5月22日(水)～25日(土) ※5月26日(日)：  
産業医研修会実施予定

会 場：広島国際会議場・中国新聞ビル

企画運営：真鍋 憲幸（三菱ケミカルグループ株式会社 人事本部全社統括産業医）  
委員長

<https://convention.jtbcom.co.jp/sanei97>

事務局

日本産業衛生学会中国地方会事務局  
〒700-8558 岡山市北区曲田町 2-5-1  
岡山大学医学部公衆衛生学教室内

運営事務局

株式会社JTBコミュニケーションデザイン事業共創部 コンベンション第二事業局  
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階  
TEL: 06-4964-8869 FAX: 06-4964-8804 E-mail: sanei97@jtbcom.co.jp





# The 6th ANOAH CONFERENCE

Asian Network of Occupational Hygiene

## Exploring the Asian Way: Collaboration, Innovation and Adaptation for the Future of IH in Asia

**Professional Development Courses: 26 - 27 August 2023 (Sat-Sun)**

**Conference: 28 - 30 August 2023 (Mon-Wed)**

**Acacia Hotel, Alabang, Muntinlupa  
Manila, Philippines**

For inquiries, please email: [ANOAH2023Phil@gmail.com](mailto:ANOAH2023Phil@gmail.com)



Asian Network of  
Occupational Hygiene



INDUSTRIAL HYGIENISTS  
ASSOCIATION OF THE PHILS.  
(IHAP) INC.



IOHA

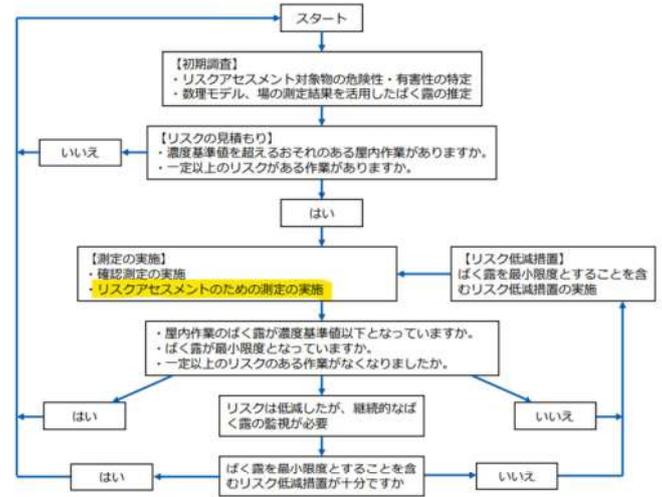
## 背景

- 今後、個人ばく露測定をベースにした包括的なリスクアセスメントが進むと予想される。
- 「個人ばく露測定のガイドライン（以後ガイドライン）」は包括的リスクアセスメントの指針として作成された。海外からも引用されている。
- 内容が学術向けであり、平易なガイドラインのダイジェスト版のニーズが出てきた。

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準の適用等に関する技術上の指針  
令和5年4月27日 技術上の指針公示第24号  
2-2 リスクアセスメントにおける測定より

事業場における全ての労働者のばく露の程度を最小限度とすることを含めたリスク低減措置の実施のために、ばく露状況の評価は、事業場のばく露状況を包括的に評価できるものであることが望ましいこと。

このため、事業者は、労働者がばく露される濃度が最も高いと想定される均等ばく露作業（労働者がばく露する物質の量がほぼ均一であると見込まれる作業であって、屋内作業場におけるものに限る。以下同じ。）のみならず、幅広い作業を対象として、当該作業に従事する労働者の呼吸域における物質の濃度の測定を行い、その測定結果を統計的に分析し、統計上の上側信頼限界（95%）を活用した評価や物質の濃度が最も高い時間帯に行う測定の結果を活用した評価を行うことが望ましいこと。

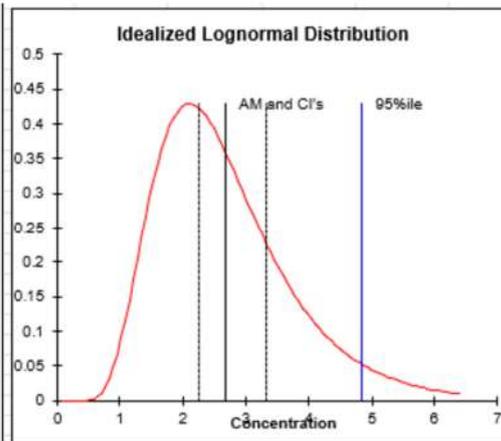


## 作成の方針

- パンフレットのように読みやすい形式とする。
  - 化学物質管理専門家、作業環境管理専門家を対象とし、一般公開する。
  - 簡易版だけを読んで終わりにならないように工夫する。
- ガイドラインにリンクを貼り、しっかり読み込んでもらい、根本的な理解が深まるための誘導資料とする。
- 実測前の調査が最も大事であることをあらためて啓発する
  - AIHA IHSTAT活用も組み入れる。測定データを、何も考えずに統計処理をしないようにする。

IHSTAT画面より

Industrial Hygiene Statistics	
Data Description	
1	DEL
2	DESCRIPTIVE STATISTICS
3	Number of samples (n)
4	Maximum (max)
5	Minimum (min)
6	Range
7	Percent above OEL (%>OEL)
8	Mean
9	Median
10	Standard deviation (s)
11	Mean of logtransformed data (LN)
12	Std. deviation of logtransformed data (L)
13	Geometric mean (GM)
14	Geometric standard deviation (GSD)
15	TEST FOR DISTRIBUTION FIT
16	W-test of logtransformed data (LN)
17	Lognormal (a = 0.05)?
18	W-test of data
19	Normal (a = 0.05)?
20	LOGNORMAL PARAMETRIC STATISTICS
21	Estimated Arithmetic Mean - MME
22	LCL <sub>95%</sub> - Land's "Estat"
23	UCL <sub>95%</sub> - Land's "Estat"
24	50th Percentile
25	UT <sub>95%</sub>
26	Percent above OEL (%>OEL)
27	LCL <sub>95%</sub> %>OEL
28	UCL <sub>95%</sub> %>OEL
29	NORMAL PARAMETRIC STATISTICS
30	Mean
31	LCL <sub>95%</sub> - 1 standard
32	UCL <sub>95%</sub> - 1 standard
33	50th Percentile - Z
34	UT <sub>95%</sub>
35	Percent above OEL (%>OEL)



## 進め方

技術部会内に、検討委員会を作って作成を進める。  
委員会名：「個人ばく露測定に関する特別委員会」

### メンバー案（五十音順）

- 伊藤昭好（労働安全衛生総合研究所）
- 貴志孝洋（筑波大学）
- 齊藤宏之（労働安全衛生総合研究所，副委員長）
- 中原浩彦（NAOSHコンサルティング，委員長）
- 中村 修（筑波大学，事務局）
- 橋本晴男（橋本安全衛生コンサルタントオフィス）
- 持田伸幸（ENEOS）
- 山野優子（昭和大学）